

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月21日

上場取引所 東

上場会社名 日本鑄造株式会社

コード番号 5609 URL <http://www.nipponchuzo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅昌 徹朗

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 阿部 俊彦

TEL 044-322-3751

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,115	△30.6	568	△47.5	510	△51.9	324	6.2
21年3月期第3四半期	14,584	—	1,082	—	1,060	—	305	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	7.72	—
21年3月期第3四半期	7.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	20,311	8,577	42.2	204.05
21年3月期	23,355	8,329	35.7	198.13

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,577百万円 21年3月期 8,329百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	△33.6	680	△48.1	620	△50.8	380	△30.1	9.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 42,059,500株 21年3月期 42,059,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 22,769株 21年3月期 20,414株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 42,038,024株 21年3月期第3四半期 42,042,312株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年10月21日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における当社グループを取りまく日本経済の環境は、生産や輸出の持ち直しなどによって、回復局面入りの傾向がみえるものの、雇用や所得環境は好転しておらず、本格的な回復にはほど遠いものがあり、経済活動は依然として低い水準にあります。

設備投資についても、企業の設備過剰感は消えず、先行きの設備投資動向を示す機械受注には下げ止まりに向けた動きが見られるものの、その勢いは弱く、低調に推移しております。

こうした環境下にあつて、素形材分野では主要な需要分野である半導体業界向け機能材受注は、未だ回復の見通しが立たず、受注は前年同期に比べ61.1%の大幅な減少となり、売上高につきましても前年同期に比べ46.4%の減収となりました。エンジニアリング分野に関しましては、低迷が続く市場環境の中、受注は前年同期比10.7%減となりましたが、大型プロジェクトの工事完工等により、売上高は前年同期を19.9%上回る水準となりました。

その結果、当第3四半期累計期間における連結売上高は10,115百万円と前年同期比30.6%の減収となり、固定費削減等コスト合理化に努めたものの、経常利益では510百万円と前年同期比51.9%の減益となりました。特別損益では、従来子会社であった新東北メタル株式会社の株式を一部譲渡（51%）したことに伴う関係会社株式売却益を計上して税金等調整前四半期純利益は580百万円、法人税等を差し引いた当第3四半期累計期間の四半期純利益は324百万円となり、前年同期比ほぼ横ばいとなりました。これは、前年同期には、法人税等の計算にあたって、投資有価証券評価損を有税扱いとして課税処理していたことによるものです。

なお、新東北メタル株式会社は株式一部譲渡に伴い、第2四半期会計期間（平成21年7月1日）より持分法適用の関係会社となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は売上債権の大幅な減少及び棚卸資産、有形固定資産の減少により前連結会計年度末から3,044百万円減少し、20,311百万円となりました。

負債は、運転資金の減少に伴う短期借入金及び長期借入金の減少により11,734百万円、純資産は剰余金の配当による減少及び利益剰余金の増加により8,577百万円となり、総資産の減少もあつて自己資本比率は42.2%と前連結会計年度末に比べ6.6%の大幅な増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月21日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	345	573
受取手形及び売掛金	6,115	7,643
製品及び仕掛品	2,180	2,622
原材料及び貯蔵品	673	878
その他	229	272
貸倒引当金	△44	△54
流動資産合計	9,499	11,935
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,135	7,153
その他(純額)	2,622	3,239
有形固定資産合計	9,757	10,393
無形固定資産	26	29
投資その他の資産		
その他	1,332	1,306
貸倒引当金	△304	△309
投資その他の資産合計	1,028	997
固定資産合計	10,812	11,420
資産合計	20,311	23,355

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,372	4,608
短期借入金	2,921	3,967
未払法人税等	30	54
賞与引当金	96	205
その他	664	845
流動負債合計	7,085	9,680
固定負債		
長期借入金	850	1,439
再評価に係る繰延税金負債	2,820	2,820
退職給付引当金	833	836
役員退職慰労引当金	66	75
PCB処理引当金	65	67
その他	12	107
固定負債合計	4,648	5,346
負債合計	11,734	15,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,102	2,102
利益剰余金	2,446	2,227
自己株式	△3	△3
株主資本合計	4,546	4,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32	2
土地再評価差額金	3,998	3,998
評価・換算差額等合計	4,030	4,001
純資産合計	8,577	8,329
負債純資産合計	20,311	23,355

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,584	10,115
売上原価	12,560	8,741
売上総利益	2,023	1,374
販売費及び一般管理費	940	806
営業利益	1,082	568
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	14	6
原材料売却益	18	—
その他	10	3
営業外収益合計	44	11
営業外費用		
支払利息	66	42
持分法による投資損失	—	14
その他	0	13
営業外費用合計	66	69
経常利益	1,060	510
特別利益		
固定資産売却益	—	1
関係会社株式売却益	—	70
特別利益合計	—	71
特別損失		
固定資産除売却損	12	1
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	329	—
特別損失合計	343	1
税金等調整前四半期純利益	717	580
法人税、住民税及び事業税	328	214
法人税等調整額	83	42
法人税等合計	411	256
四半期純利益	305	324

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 品種別製品生産実績

(百万円)

品種別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
素形材	3,603	△45.9
エンジニアリング	3,540	△2.2
その他	1,243	△61.3
合計	8,387	△37.8

- (注) 1 金額は製造原価によっております。
2 上記金額には消費税等は含んでおりません。

(2) 品種別製品受注状況

(百万円)

品種別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) 受注高	前年同 四半期比 (%)	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) 受注残高	前年同 四半期比 (%)
素形材	3,314	△61.1	2,310	△44.5
エンジニアリング	4,738	△10.7	1,937	△46.7
その他	1,311	△58.2	84	△43.8
合計	9,365	△44.8	4,332	△45.5

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記金額には消費税等は含んでおりません。

(3) 品種別販売実績

(百万円)

品種別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比(%)
素形材	4,039	△46.4
エンジニアリング	4,745	19.9
その他	1,330	△57.0
合計	10,115	△30.6

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
JFEスチール(株)	2,858	19.6	1,412	14.0

- 2 上記金額には消費税等は含んでおりません。